

事務事業評価シート

(H.28)No.	1102	(H.27)No.	1102
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害者アグリ雇用推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡昌行	

会計区分	事業コード	307001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	障害者アグリ雇用推進事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	障害者アグリ雇用推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	5	雇用
	小施策	1	就業機会の確保
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業関係者及び障害者を含む福祉関係者相互の理解を深め、障害者の農業就労を推進することにより、障害者の自立を促進し、また障害者の心身の健康や機能回復を図り生活の向上を目指す。
事業内容
農業分野における障害者就労を推進するため、名張市障害者アグリ雇用推進協議会に事業を委託する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施する。	・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施する。 委託料767千円	・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施する。	・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施する。	・障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施する。

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	753千円	767千円	767千円	767千円	767千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 753	767	767	767	767
人工数					
職員	0.84人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 6,384千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円
①+②総事業費	(0千円) 7,137千円	2,667千円	2,667千円	2,667千円	2,667千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
農業就労体験を計19回開催し、延べ81名の障害者が参加した。また、特別支援学校との連携により収穫体験や加工、販売体験を実施し、啓発推進を図った。加えて、3事業所で5回の農作業の受委託試行事業を実施した。	これまでの取組の結果、障害者の農業就労に向けた体制の構築は完了しており、今後は、様々な就労形態も考慮し、労働力を求める農業事業者と農業分野での就労を希望する障害者とのマッチングを図り、様々な形での就労につなげていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	障害者の農業就労や体験実習の実施による就労意欲の向上、就労先の選択肢の拡大等に貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域づくり組織等と連携し、就労や作業の受け皿として様々な主体により障害者の就労先を拡大していける可能性がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
実際に雇用に結びつく事例は依然として少なく、今後は就労形態の多様化による様々な形での就労を検討し、就労実績の増加を目指していく。	第三次名張市障害者福祉計画 第二次名張市農業マスタープラン